

令和7年度 第1回村上市地域福祉計画（第3期）審議会及び
地域福祉活動計画（第3期）推進委員会 会議録

- 1 開催日時 令和7年9月18日（木）14：15～16：15
- 2 開催場所 村上市役所 本庁4階 大会議室
- 3 出席委員 出席委員：7名
（敬称略） 佐野一彦、大滝恵子、渡部久美、鈴木明日香、瀬賀博美、長谷部恵、
青木 茂
- 4 欠席委員 欠席委員：6名
（敬称略） 東海林則夫、海沼順一、阿部久美子、能登谷愛貴、本間 薫、野田尚道
- 5 出席職員 福 祉 課：太田課長、石嶋課長補佐（総合相談室長）、
遠山係長（総合相談室）
こ ども 課：長谷部課長補佐（子育て支援室長）
介護高齢課：川村課長補佐（高齢者支援室長）
保健医療課：中川課長補佐（健康サポート室長）
- 6 地域福祉活動計画推進委員会事務局（村上市社会福祉協議会）
総 務 課：小田課長、富樫係長
地域福祉課：佐藤課長、鈴木係長
- 7 会議次第 別紙のとおり
- 8 会議経過 別紙のとおり

会 議 経 過

1 開会（14：15）

- ・事務局より、開会挨拶と欠席連絡

2 市長挨拶

3 村上市地域福祉計画審議会委員/地域福祉計画活動推進員委員及び職員紹介

4 正副会長の選出

【会長】新潟医療福祉大学大学院 社会福祉学部教授 青木 茂 様

【副会長】村上・岩船地域自立支援協議会 佐野 一彦 様

- ・委員より拍手にて承認

5 正副会長挨拶

- ・会長、副会長より挨拶

6 諮問

- ・市長から会長に、諮問書を提出
- ・社会福祉協議会会長から会長に、諮問書を提出
- ・市長、社会福祉協議会会長、公務により退席

7 地域福祉計画・地域福祉活動計画について（講師：新潟医療福祉大学大学院 青木教授）

- ・青木教授による、地域福祉計画・地域福祉活動計画についての研修（講義）を実施

8 議事（進行：青木会長）

- ・出席委員の報告（審議会条例第6条第2項の規定により、本会成立）

（1）会議の公開及び会議録に関する取扱いについて（資料2）

- ・事務局より資料2による説明
- ・委員より、原案どおり承認

（2）アンケート調査（案）について（資料3）

- ・事務局より資料3による説明

・前回（5年前）からの浸透度合いを比較するため、基本的に前回と同じ設問となっているが、一部に表現の変更、近年の情勢に応じた回答項目の追加を行っ

ている。また、「ひきこもり」「ヤングケアラー」関係の設問を新たに設置。

- ・全体の質問数は、前回の 32 問に新規 8 問追加し、計 40 問。
- ・調査期間は令和 7 年 11 月から 12 月の約 1 ヶ月間を予定。
- ・調査対象者は 18 歳以上の市内在住の 2000 人、無作為抽出。配布方法は郵送。回答は、書面の返送及び Web による回答方式を用いる。
- ・市内中学高校に通う学生を対象にアンケート調査を予定。回答は、Web 回答のみとする。
- ・成年後見制度の権利擁護に関する設問（問 32,33,34,35）は、成年後見制度利用促進協議会からの依頼部分となるので確認を依頼。

・本日、審議していただきたい設問について説明

① 2 ページの問 1、7 ページの問 18、同様の意見あり

回答項目「3 答えたくない」という表現に違和感があるとの意見に対して、多様性を尊重する上で必要な回答項目であるが、「3 答えたくない」という表現は、否定的、ネガティブな表現となるため、「その他」と改めた。

② 2 ページの問 4

回答項目「1 勤めている（パート・アルバイトも含む）」の後に、正社員・その他を選択できる項目を増やしたらどうかとの意見に対して、正規雇用か非正規雇用かで考え方の違いも重要と考えるが、この調査では勤めているか否かで、ボランティアや行事参加など地域活動との関わりの違いをアンケート調査から読み取る事を考えると、特に変更しない事とした。

③ 6 ページ問 17

回答項目「9 わからない」を追加の意見に対して。

この設問は、家族の中でひきこもりがちな方がいる場合の、「その方（家族）の年齢」を聞く内容であり、「分からない」という回答項目は考えにくいため追加しないものとした。

④ 7 ページ問 19

設問の中の「家族の介護」という表現があるが、「介護」に限定せず「家事や介護、大人のサポートをしているなど、広い捉え方ができる表現が良いのでは？」の意見に対して、

ご指摘どおり「介護」だけの限定的表現となり、また「介護」とは「老人介護」のイメージが強くなってしまふ。「家事や介護」とのご意見がありましたが、「家事」となると細かい表現になってしまい、ご指摘のとおり広い捉え方で一般的な表現となると【家族のサポート】【家族の支援】【家族の世話】などの表現はどうか。

以上、4 問について委員の皆さまのご意見をお願いします。

会 長：説明がありましたとおり、4 問について本日皆さま方からご意見をいただきたいと思います。初めに①問 1 について、性別を問うところで問 18 と関連付けられている箇所となります。佐野副会長から改めてこのご意見についてコメントをお願いします。

副 会 長：時代的に男性、女性だけで性別を括れないところがあるが、そもそもこのアンケート自体にこの性別の確認が必要なのかどうか。これがどんなふうに統計処理して出てきてつながるのか。しかし必要で、性別の回答項目を増やすのであれば、「答えたくない」という表現は、やはり違和感がある。

先日、ある講演会に行った時にも同じように、男性・女性・答えたくないという表現だったが、「答えたくない」のではなく、この表現だけでは書きにくいという人が中にはいるのかと思い、この箇所は変えた方がいいか、そもそも必要があるのかと疑問に思った。

会 長：補足的な説明いただきました。委員の皆さまの方で今のご説明に関してご意見ご質問等ありますでしょうか。

委 員：確かに答えたくても 1,2 に当てはまらないという方がいるなら、やはり「その他」という項目があったほうがいいと思います。

委 員：私も「答えたくない」という選択があると、1、2 は自然に丸が付くだろうけど、その方を個人的に悩ませてしまったり、アンケートをするにあたってネガティブな気持ちになってしまうなど考えると、「その他」という表現がいいと思います。

会 長：今の時代ということで冒頭でも佐野副会長からもお話がありましたとおり、LGBTQ とか、あとは性自認、心と体の状況が一体になってない人がいる可能性があったときに、強制的に男、女に丸をつけなくてはならないことは非常にづらいことでもあります。

一方ではまた副会長からお話があった通り、これを聞く必要があるのかどうかという問いもあります。ただ、いろんなアンケートものに関して、やはり男性女性の精査によって、こういった取り組みに何か考えの違いがあるかっていうことも一方では見る効果もあろうかと思うので、まずこの性別を問うアンケート自体は残しておき、どちらかに付け難い場合、「答えたくない」というネガティブな選択ではなくて、「その他」とすることでよろしいでし

ようか。では、この問1につきましては事務局の提案どおり「その他」としたいと思います。

会 長：次に②問4について、皆さんの意見はどうか。

委 員：特に修正しなくてよい。

委 員：事務局の説明どおりでよい。

会 長：特に正規雇用非正規雇用ということで不安、悩みという考えはあるが、ここではそれも含めた上で今現在勤めているか、そうではないかとの設問としたいがいかがでしょうか。事務局の提案どおり特に修正しないこととしたいと思います。

続きまして、③問17について、皆さんの意見はどうか。「分からない」を入れるべきかどうか。

委 員：自分の子供も現在18歳だが、親の年齢を聞かれたときに答えられないこともあるが、この回答項目の各枠の選択で行うのであれば分かると思うので入れなくても良いと思う。

副 会 長：家庭の中にいる人なので、仮に1歳2歳の擦れがあっても枠で聞いているので、「分からない」は追加しなくても良いと思う。

会 長：他に意見ありませんでしょうか。特になければ事務局の提案どおり「分からない」は追加しないこととします。

次に7ページ問18は、先ほど①問1の「その他」とする。

続きまして④問19です。設問に家族の介護という表現がありますが、この「介護」が非常に高齢者介護という固定的な表現でとらえられてしまうので、別な表現に変える必要があるのではと意見がありました。こちらについて、いかがでしょうか。

委 員：イメージ的に介護となると高齢者のイメージがあるので、「家族のお世話」などを考える。

委 員：難しいですが、実際の年代のお子さんが家族のサポート、手伝いとか自分の意志を持ってやっている子もいると思う。日常的に自分のしたいことができないくらいやっているようであれば、やはりそれは違ってくる。ちょっと何かをサポートすること、自分の意志で手伝いすることはあり得ることなの

で、例えば「日常的に家族の介護」などの表現があればまた違ってくるのではないかと思う。

副会長：日常的にという言葉があると、時々、たまにではなくそれに追われてるようなイメージとなる。介護については、別に言葉を変えなくて残していいと思う。介護や世話とか介護だけに限定するのではなく、二、三付け加えたらと思う。

委員：家族のサポートだとちょっと軽いではないが、家事などの方が分かりやすいと思う。

会長：今いただいた意見から「日常的」という表現がこの設問には非常にわかりやすいので、採用することで良いでしょうか。

また、介護や家事などの表現をどうするかについては、例えば、「日常的に家族の生活の支援をする」、その生活支援をするの後ろに括弧書きで、介護、家事など、何か例示を括弧の中に幾つか入れる。そうすると、多少わかりやすくなるかなと思う。日常的を使い、介護という言葉が前面に出てこないように。生活支援という言葉を使うかどうか。この部分に関しては、本日は時間がないので、事務局と会長副会長で案を考えて、皆さんへこのようにしたいとお諮りし、特にご意見などなければそれで採用したいと思いますがよろしいでしょうか。

委員：異議なし。

会長：その他、11,12 ページの成年後見制度の設問についてご覧いただき何かご意見等ありますでしょうか。問 32、成年後見制度についての説明文を追加しました。問 35 についても、市民後見人についての説明文が同じく記載されています。

特になければ、事務局からいただいた 4 点に関しては、以上皆さまと意見交換しながら決めさせていただきました。修正する箇所は、修正しアンケートを完成させますので最終確認していただきたい。その他、アンケート調査票全体的に確認いただき、ご質問ご意見はありませんでしょうか。

特になければ、中高生対象のアンケートについてです。基本的には、今皆さま方とご審議いただいたこのアンケート案の中からピックアップして作成致します。こちらも時間の関係で事務局と会長副会長で絞り込みをさせていただき後日、皆さまにお諮りすることとしたいと思いますと思いますがよろしいでしょうか。

委員：異議なし。
・事務局案のとおり承認

会長：では、（３）のアンケート調査（案）について以上です。

（４）審議会スケジュール（案）について（資料４）

- ・事務局より資料４による説明
- ・事務局案のとおり承認

会長：これから座談会やヒアリングが始まるので、都合がつく範囲で構わないのでぜひ参加していただきたい。

９ その他
特になし

１０ 今後の審議会日程

- ・次回は令和８年３月を予定。多くの委員に出席いただくため早めに日程の連絡をしたい。

１１ 閉会（副会長）